

澤田四郎作 しやうたけ 民俗學者。明治二十一年五月二十五日奈良縣北葛城郡香芝生れ、昭和四十六年五月十八日歿（八十九一九七二）。筆名「上行々子、朱通禮一郎、澤田五倍子、畔橋亭、熱川虔太郎等。大正十五年東京帝國大學醫學部卒。昭和六年小兒科醫學畢業、醫學博士。大學在學中から柳田國男に師事して民俗學を修め、十一年近畿民俗學會を創設し、會長。戰時中は軍醫として大陸に赴き、終戦でシベリア抑留。

二十一年歸還後も、日本民俗學會理事、日本民族學會評議員等を務め、著書論文多數を残す。

主なものゝ「無花果」（大正十五年十一月十八日坂本書店「性の表徴叢書」）、「大和昔譚」（昭和六年十月二十九日大阪・自刊）、私家版「五倍子雜筆」全十二號十一冊（昭和九年七月一日—二十九年十月一日刊）があり、晩年自ら「五倍子執筆自録」（昭和四十二年自刊）を作成。歿後「澤田四郎作博士記念文集」（奥村隆彦・原泰根編、昭和四十七年五月—二十八日大阪・沢田四郎作先生を徳ぶ会）が作られた。

